

EXPO 2025 Osaka, Kansai, Japan

2025年日本国際博覧会『未来社会ショーケース事業出展』
「スマートモビリティ万博」ロボットエクスペリエンス

募集要項(一次エントリー)

《募集について》

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会は、『未来社会ショーケース事業』『スマートモビリティ万博』のうち、万博会場内において次世代の様々なロボットを実装・実証する「ロボットエクスペリエンス」を実施します。

つきましては、万博会場内で実装・実証が可能な「ロボット」を、下記の通り募集します。

《参加対象》

「ロボットエクスペリエンス」では、企業（含む中小企業、スタートアップ企業など）、教育・学術・研究機関（大学・研究所等）、国・政府関係機関（独立行政法人等）、国際機関、自治体、NGO、NPO法人、各種団体や個人のグループなどの多様な主体が対象となります。

《実装・実証エリア》

フードコートをはじめ、屋内エリアや広場、大屋根リング下通路、各所の賑わいスペースなど万博会場全体を想定していますが、参加するロボットの特性等を考慮し、随時調整していく予定です。

今後、博覧会協会にてエントリーされた「ロボット」と稼働いただく「実装・実証エリア」とのマッチングを行い決定いたします。

▽実装・実証エリアイメージ
フードコート



《募集するロボットのイメージ》

未来社会をイメージできる様々なロボットを実装・実証したいと考えていますので、一次エントリー段階では制約は設けていませんが、万博会場内で実装・実証運用(稼働)可能な自律型ロボットを対象に募集します。



配膳・下膳

フードコートにおいて、障害物や人を避けながら、指定場所までたくさんの皿や備品などを運ぶ自律移動するロボットによって、人手不足の解消や接触機会の削減が可能となります。



デリバリー

荷物を収納して、万博会場内の物流拠点や小売店舗などの様々な荷物や商品を配送するロボットにより、配達員の省力化や接触機会の削減が可能となります。



物品輸送

荷物を載せたロボットが、自律移動や人の後ろを追従しながら移動することで、万博会場の各種運搬業務を少ない人数で行うことができます。



受付・案内

万博会場において、音声会話機能を備えたロボットが案内業務を行います。自律移動機能を備えることで、目的地まで先導することも可能です。



通訳サービス・アバター

AI自動翻訳機能を備えたロボットによる多言語対応により、インバウンド来場者のサポートを行います。カメラとディスプレイを備えることで、離れた場所からロボットを操作することも可能です。



介助・歩行支援

AI機能搭載や離れた場所からのオペレーションにより、ロボットの移動やアーム操作を行うことで、高齢者や障がい者など介助が必要な来場者のサポートを行うことができます。



モビリティ

人を乗せて自動で移動するロボットにより、目的地まで合理的な経路で移動することが可能となります。



清掃・消毒

ロボットが無人で万博会場内の清掃や消毒液散布を行います。自律移動機能を備えたロボットが効率的に広範囲に渡り移動することで、万博会場をクリーンな状態に保ちます。



警備

センサーやカメラの映像や音声などを自動分析する警備ロボットが多くの人々が訪れる万博会場を効率的に巡回。事故や火災などの非常事態を自動検知するなど、24時間体制での警備業務を行います。

《参加形態》

多くの方に参加いただきたいことから、以下3つの参加形態を用意します。

参加形態	実証期間	備考
①通期	万博開催期間全日(184日)	会期前からの稼働をお願いする可能性もあります。
②マンスリー	万博開催期間中のいずれか1か月	複数月での参加も可能とします。
③ウィークリー	万博開催期間中のいずれか1週間	複数週での参加も可能とします。 ※但し、最低7日間以上の稼働

《一次エントリーの応募方法》

エントリーシートに、参加者と稼働するロボットの情報をご記入いただき書類を電子メールに添付して送付してください（送信先：robot_project@expo2025.or.jp）。

※ファイルサイズが5MBを超える場合はファイル便等を使用してください

提出書類の作成及び提出に要する費用は、応募者の負担とします。

送信された電子メールあてに5営業日以内に受信確認メールを返信します。

《ロボットの選考について》

ご応募いただきましたロボットの選考は、外部の有識者等による選考委員会により行います。

委員会は非公開とし、選考の経過等に関する問い合わせには応じません。

(選考基準)

- ・公共空間での運用において、現在または近い将来の実用化が期待できる完成度を有していて、ロボットとの共生する未来を感じられるか。
- ・博覧会への来場者の不便解消など、利用者や運用者にとって利便性が高まる機能や性能を備えているか。
- ・生産性の向上や新しい市場の創造が期待できるか。
- ・倫理及び安全への適切な対応が行われているか。
- ・参加ロボットの所有者または使用者が、社会通念上不適切な行為を行っていないか。

※一次エントリーの申込時においては、万博会場内での実装・実証を約束するものではありません

ロボットの機能と各実装・実証エリアの条件が合わずお断りする場合がありますのでご了承ください。

《募集期間》

2024年1月19日（金）14：00より2024年9月30日（月）23：59までとします。

（※全参加者が決まり次第、受付を終了いたします）

今後、博覧会協会にてエントリーされたロボットと稼働いただく実装・実証エリアとのマッチングを行い、実施へ向けて個別に調整していきます。

実施運用内容、実装・実証エリア、参加形態、実施期間は、博覧会協会と参加者の合意に基づき随時決定していきます。

《実装・実証運用に関する注意事項》

・実装・実証運用で発生する費用のうち、本公募にかかる費用、場所使用料、保管倉庫使用料、実装・実証エリア装飾費、観客整理要員費、警備費は博覧会協会が負担します。

その他の経費（**人件費、機材費、運搬費、旅費、滞在費、保険等**）は**参加者の負担**となります。

・実装・実証運用の安全管理は参加者の責任のもと行っていただきます。

大勢の来場者が混在する万博会場内での運用に際し、安全性を確保するためにリスクアセスメントを実施していただきます。

・施設賠償責任保険及び運営要員の労災保険に必ず加入していただく必要があります。

・適切な対策が講じられていないことが判明した場合は採択を取り消す場合があります。

■ 本事業全般に関する問い合わせ

電子メール（robot_project@expo2025.or.jp）のみ受け付けます。口頭・持参・電話・FAXによる質問は受け付けません。

「件名」には「質問__ロボットエクスペリエンス__●●（企業・団体名）__2024〇〇〇〇（送付日）」とし、質問内容を記載して送信ください。

選考結果は、採択・不採択にかかわらず、エントリーシートに記載されている応募者へ順次電子メールにて通知します。